

## 丹後農業実践型学舎情報

(令和元年10月、11月)

秋作物の出荷期に入り、6期生及び修了生は、収穫・調製・出荷と忙しい時期となりました。

6期生は、カンショ、キャベツ、ダイコン、ブロッコリーの出荷を行いました。

修了生も同様に、カンショ、キャベツ、ダイコン、ニンジン、大カブなどの秋作物の出荷を行いました。

※本年度は、修了生（第1～5期生）に対するフォローアップの様子もお届けします。

### 【6期生（研修生）】

		
<p>場 所：網野町島津4団地 内 容：カンショ収穫 その他：葉を虫に食べられたため、イモが小ぶり。防除の必要性を実感した。</p>	<p>場 所：弥栄町鳥取2・3団地 内 容：カンショ収穫 その他：共同作業所の方に収穫作業を依頼。丁寧な指導を受け、作業を行っていた。</p>	<p>場 所：弥栄町上野団地 内 容：ブロッコリー病害発生 その他：運搬車で畝をまたいで収穫し傷つけたのが、病害の発生・蔓延につながったのかもしれない。</p>
		
<p>場 所：弥栄町井辺団地 内 容：普及センター巡回 その他：ニンジンがキレイに生え揃っている。熊や鹿の足跡があるため、電気柵設置を検討する必要がある。</p>	<p>場 所：丹後農業研究所 内 容：ダイコン調製・出荷 その他：サイズが大きくなり、加工用の出荷サイズになってきた。</p>	<p>場 所：丹後農業研究所 内 容：ミズナ収穫 その他：初収穫。土が商品に付かないように注意しながら収穫するのが難しい。細かい作業が苦手なことを実感した。</p>

【5期生（就農1年目）】

		
<p>場 所：久美浜町永留7団地 内 容：カンショ収穫 その他：初めにイノシシに圃場を荒らされたため、イモのサイズが小さい。獣害対策は必須。</p>	<p>場 所：峰山町五箇地内 内 容：カンショ調製 その他：パートさん2人でイモの調製作業。出荷できないイモを持って帰ってもらうと大変喜ばれる。</p>	<p>場 所：久美浜町寺分団地 内 容：ナシ選別 その他：知り合いの農家さんに販売してもらうため、見た目、サイズで選別。JA 以外の販売先を模索。</p>

【4期生（就農2年目）】

	
<p>場 所：大宮町周枳地内 内 容：赤カブ調製 その他：西利用の赤カブの調製方法を外国人材に指導。</p>	<p>場 所：弥栄町坂野団地 内 容：カンショ収穫 その他：天候不順で作業が遅れてしまった。キャベツ出荷もあるため、早く終わらせたい。</p>

【3期生（就農3年目）】


<p>場 所：久美浜町栢谷団地 内 容：峰山高校弥栄分校農業体験視察受け入れ その他：生徒 15 名に対して農業実習体験としてキャベツ収穫を指導。</p>

【2期生（就農4年目）】

	
<p>場 所：弥栄町堤団地 内 容：キャベツ出荷 その他：今日はキャベツ、ダイコン、 大カブを収穫しないといけない。こ の時期は出荷が重なると忙しい。</p>	<p>場 所：弥栄町堤団地 内 容：キャベツ収穫 その他：祖父母の協力を得て収穫を 行っている。</p>

【1期生（就農5年目）】


<p>場 所：弥栄町堤団地 内 容：キャベツ収穫 その他：10月取りキャベツを収穫。 お母さんがトラクタに乗車し、収穫 作業を分担している。</p>